

103-329

問題文

担当医師に提案すべき内容として、適切なのはどれか。2つ選べ。

1. リツキシマブの点滴速度は少しずつ上げていく。
2. グラニセトロンは、リツキシマブの後に投与する。
3. ドキソルビシン塩酸塩の点滴速度は少しずつ上げていく。
4. d-クロルフェニラミンマレイン酸塩とイブプロフェンは、リツキシマブの投与開始30分前に投与する。

解答

1, 4

解説

選択肢 1 は、正しい記述です。

リツキシマブの初回投与時は、患者の状態をよく観察しつつ 50mg/時 から 徐々に速度を上げていきます。

選択肢 2 ですが

グラニセトロンは、5-HT₃ 受容体拮抗型制吐剤です。リツキシマブの副作用としての嘔吐に対して 支持療法の一環として用いられます。予防的投与として リツキシマブに対して「前投与」を行います。後ではありません。よって、選択肢 2 は誤りです。

選択肢 3 ですが

ドキソルビシンの点滴速度は、徐々に上げる必要はありません。

選択肢 4 は、正しい記述です。

d-クロルフェニラミンマレイン酸塩 及びイブプロフェンは、それぞれ インフュージョンリアクションによる アレルギー様症状、発熱・炎症予防に 用いられます。

以上より、正解は 1,4 です。